



集中連載 第3回

部活動のいま

～義務教育学校の部活動～



5・6年生から部活動に参加

義務教育学校における部活動の特徴

とうべつ学園開校にあたり、5・6年生も部活動に参加できるよう方針を定めて準備を進めました。令和4年度はグラウンドが工事中のため、野球部と陸上部は募集しませんでした。それ以外の部活動で5・6年生に募集を広げたところ、36名が入部しました。

5・6年生の部活動は、1年ごとに変わることができます。どの部活動に入ろうか迷っている児童は、5・6年生の間に様々な部活を体験して、自分に合った部活動を選ぶことができます。また、少年団に所属している児童も多いため、少年団が無い日に部活動に参加できるなど、活動日数も7～9年生より少なくしています。

このほか、当別中学校時代は総合体育館で練習していた部活動も、とうべつ学園になって活動場所を確保でき、校内で活動が完結できるようになったことも、気軽に参加しやすくなった要因だと思います。



5～9年生が参加した部活動結成集会の様子

今後の課題

拠点校方式を採用している部活動のうち、女子バスケットボール部は主な活動場所が西当別中学校のため、移動手段の確保などから5・6年生の参加が難しくなっています。また、西当別小学校の児童は部活動に参加できません。

義務教育学校における部活動と拠点校方式の部活動は今年から始まったばかりなので、今後も工夫と改善を図ります。

とうべつ学園部活動設置に向けた基本方針

児童生徒の生きる力を育成し、豊かな学校生活を実現させる教育活動の一環として部活動を位置づけ、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資する運営・指導に徹することにより、児童生徒の個性や能力の伸長を図る。

とうべつ学園部活動設置に向けた活動方針

- ・児童生徒の興味関心にあった活動を5年間を通して行うことにより、自主性を養い、充実した学校生活を送れるようにする。
- ・異年齢集団における活動を通じて、リーダー性や協調性などの社会性を育む。
- ・生涯にわたって運動・文化芸術に積極的に親しもうとする態度を養う。

とうべつ学園の部活動の様子を紹介します



剣道部



6年生6人が部活動に参加しています。少年団出身の経験者や、部活動で初めて竹刀を持つ初心者が入部しています。



平田健祐さん(6年)

もしものために立ち向かえる強さを身につけたくて、剣道部に入りました。練習を続けていくうちに、少しずつ強くなっている気がします。



卓球部



5年生6人が部活動に参加しています。初心者も多く所属していて、先輩からマンツーマンで指導を受けながら、楽しく活動しています。



須藤杏菜さん(5年)

4月の体験入部の時に楽しそうに活動していたので、入部しました。先輩の指導がわかりやすくて、自分でも上手くなっているのがわかります。



吹奏楽部



5年生5人、6年生8人が部活動に参加しています。5・6年生は5月の春の花咲くコンサートに出演したほか、8月のコンクールにも参加する予定です。



佐藤向葵さん(6年)

楽器を吹いてみたくて、吹奏楽部に入部しました。練習を続けていると、少しずつ吹けるようになってるのが楽しいです。



美術部



5年生3人、6年生4人が部活動に参加しています。当別小学校で取り組んでいた書道の流れを汲んで、今年から美術のほかに書道コースもできました。



滝本莉彩さん(6年)

絵を描くことが好きなので、上手になりたくて部活動に入りました。部長や先生が絵の指導をしてくれるのが嬉しいです。